

一昨日 7 月 5 日配信の、逆ラジオ通信 No.25 W-230705 には 富山のデータの減衰と長野安曇野のデータの減衰により、長野周辺、又は日本海側の大地震の可能性があると、次のように載せました。

・逆ラジオ通信 No.25 W-230705、トピックスより <富山の減衰 つづき>

【富山】がいよいよ減衰。5/17 ごろには 10 万～18 万の連続データが、6/23 以降はさらに減衰し、7/4 には約 1 万まで減衰し、もうすぐ発震の可能性があり。また【長野安曇野】も減衰傾向で、長野県北部を震源とする小さい群発地震が発生し、この先、長野周辺、あるいは日本海側の大地震に要注意。暫定で次の予想とします。

震源：長野周辺、又は富山県、石川県の日本海側

地震の規模；M6 クラス

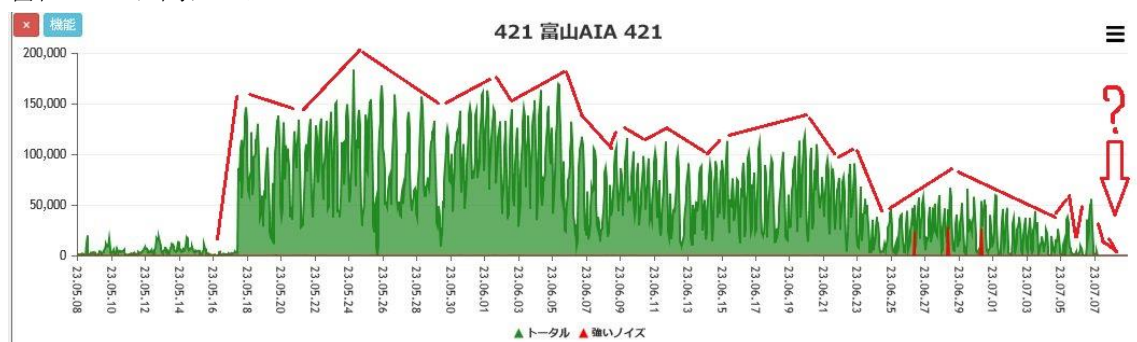
発震予想：7 月 5 日より 5 日間程度

本日 7 月 7 日になり、富山のデータはさらに減衰し、また長野安曇野も減衰のまま。さらに伊勢 C 330, B 261, B 262、和歌山の印南、離れた位置にある広島も減衰してきています。能登、珠洲市付近を震源とする震度 1 以上の地震が 5 月は 121 回だったのが、6 月は計 16 回になり大幅に減少した、との記事があり、これは大地震前の静穏期の可能性があり、危険な兆候に思えます。さらに、7 月 3 日が地球と月の距離が短いスーパームーンの満月で、引力も大きくなり、大きな地震が起きやすい満月トリガーの時期になります。以下に関連のデータを載せます。

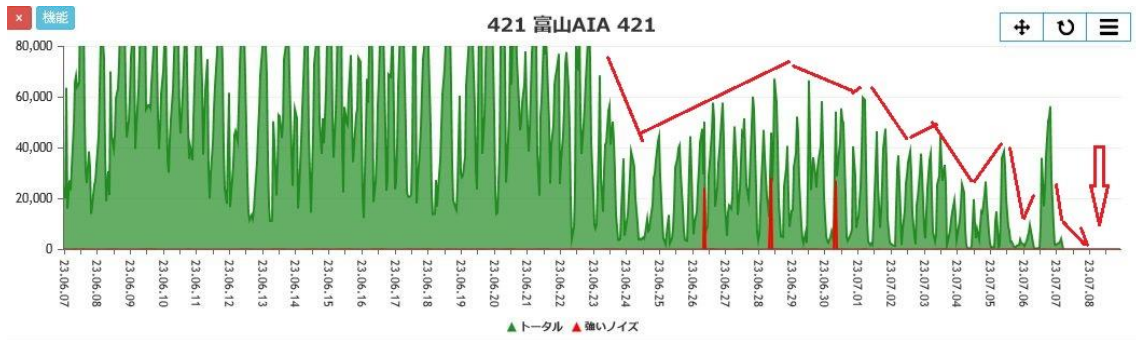
富山 180 日間データ



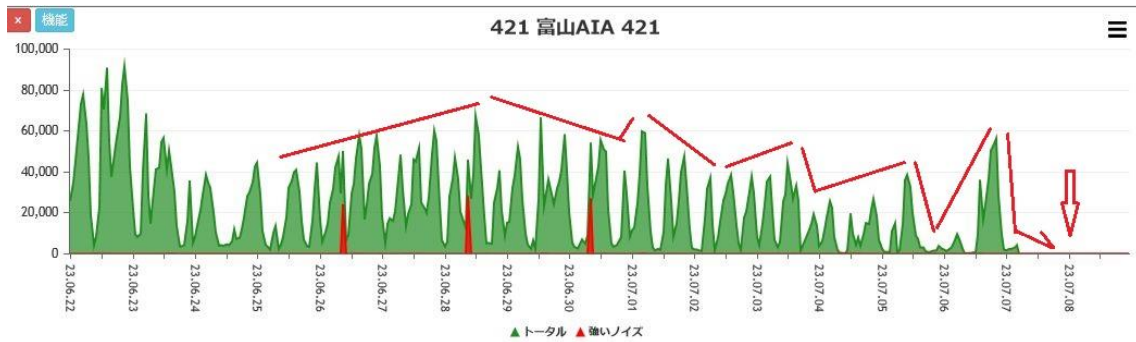
富山 60 日間データ



富山 30日間データ



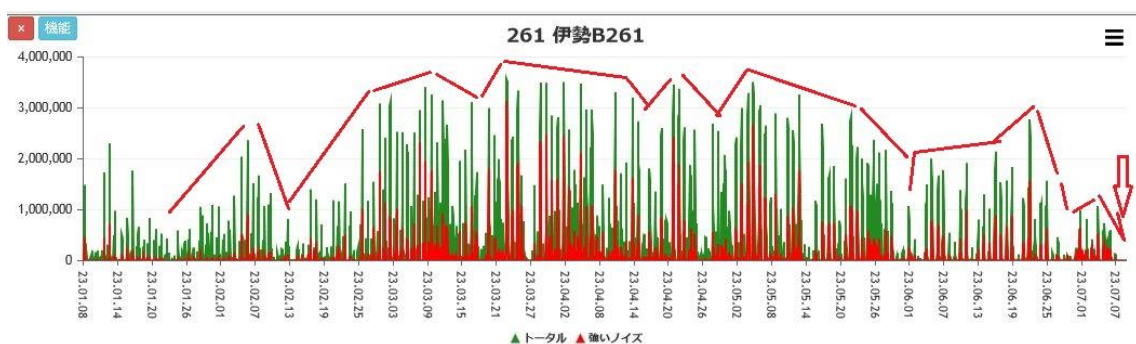
富山 15日間データ



安曇野 90日間データ



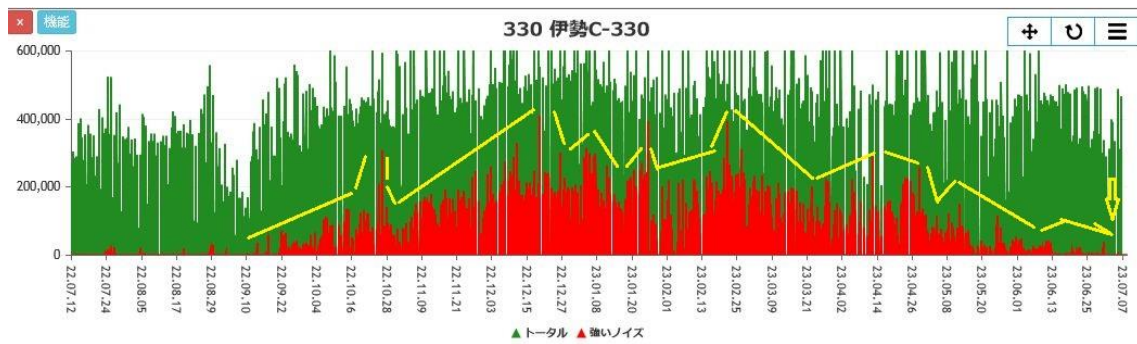
伊勢B261 180日間データ



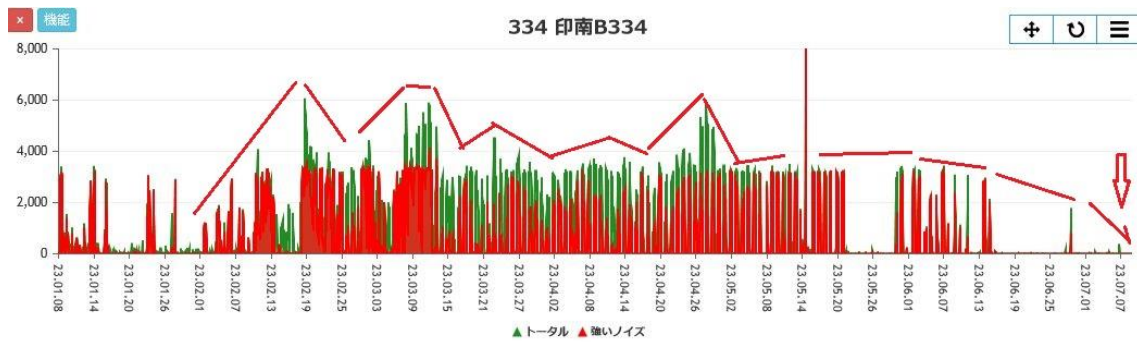
伊勢B262 180日間データ



伊勢C330 180日間データ



印南 180日間データ



広島 180日間データ

